

飛翔の森から ～羽島北高校進路だより～ 第7号

H30.11.15（木） 羽島北高校進路指導部

受験シーズンが本格化！推薦入試からセンター試験へ

11月に入り、推薦入試がいよいよ本格的に始まりました。担当の先生から面接練習、小論文の添削、受験の心構えやアドバイスなどを受ける3年生の姿が、今、学校内のいたるところで見受けられます。受験本番まであとわずか、精一杯頑張った自分の力を信じるのみ。受験当日は、今まで培った学習の成果が発揮できるよう、体調を整えて、平常心で臨みましょう。そして受験が終わったら、まずはお世話になった先生への報告を忘れずに。一方、大学入試センター試験まであと2ヶ月あまりとなりました。12月中旬には受験票が到着します。国公立大学を志望する人はもちろん、私立大学志望の人も、センター試験利用入試はほとんどの大学で行われていますから、ここで高得点をあげることは希望大学合格の近道といっているでしょう。毎年、3年生の各クラスに配布する『蛍雪時代12月号 センター試験総力特集号』（旺文社）によると、大学合格者のセンター対策は、



Q1 本格的なセンター対策を始めた時期は？ →合格者の過半数が11月 ※つまり、まさしく今です。

Q2 センター対策で重点を置いたことは？ →問題を数多く解く。※センター試験の特徴の一つが、試験時間に対するボリュームの多さです。数多く解いて出題形式に慣れましょう。

Q3 センター対策で重視した学習手段は？ →過去問題・予想問題 ※センター対策は過去問題を徹底してやるのが有効です。年末年始のセンター演習も効果があがると思います。

なお、『蛍雪時代12月号』には、各教科・科目別の予想問題も掲載されています。これも非常に重要な情報ですので、あわせてチェックしておいてください。

2年生の大学模擬講義、1年生の新路BOOK講座が開催されました

11月5日（月）の6、7時間目に2年生の大学模擬講義及び1年生の新路BOOK講座がそれぞれ開催されました。大学模擬講義では、岐阜大学はじめ13の4年制大学、短期大学、専門学校の先生方をお招きし、心理、国際、スポーツ、工学、看護、栄養、保育などの分野別に、各学校の授業の一端や職業に就くための心構えなどを教授してもらいました。また、新路BOOK講座では、講師の先生の映像を交えた講演を通じて、①「誰かの為に」という視点を持つてみる。②目の前のこと（勉強・部活・学校行事・人間関係など）に一生懸命取り組む。③自分自身と対話する（質問する）ということの大切さを教えていただきました。いずれの活動も、今後の自分の進路を考える上で、大きな効果があったことと思います。

1年生の進路探究活動が始まります

1年生を対象として、12・1月の総合学習の時間に進路探究活動が始まります。各クラスで、グループごとに分かれてさまざまな学問分野を調べ、それを発表して理解を深める活動です。文理コース選択もほぼ固まった今、自分がすすむ学問分野を早く見つけられるよう、積極的に探究活動に取り組んでください。

12月の進路関係行事

- 3日（月）及び7日（金） 進路決定者懇談会（3年生進路決定生徒及びその保護者対象）
*3日・7日いずれかの日に参加
- 25日（火）、26日（水） 3年生センター直前演習
（代々木ゼミナールの演習問題使用）

